

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



IMAGINE ROTARY

イマジン
ロータリー

第1595回例会 令和4年9月27日 (火)

ガバナー公式訪問

【会長の時間】

畝 徳治



今年は地区大会が帝国ホテルという事でちょっと遠いかなと思いましたが、参加してみても充実していたなと感じました。

私はクラブの会長の時間として話している事を普段通りしたいと思います。月末の例会は夜間例会が多いのですが、私の趣味謡曲に絡めた話をさせて頂いております。表は能楽という事で、能は650年くらい前に観阿弥世阿弥親子が大成して、引き継がれています。老舗企業に絡めてお話ししましたが、それだけ長く続けると、安泰だったのではないかと思う方が多いと思いますが、波もあったという事で、どん底の話をさせて頂きます。

能が史上最大の危機を迎えたのは、明治維新です。一気に幕府や武家の後ろ盾がなくなり、玄人たちも兼業でないとやっていけなくなりました。役所の窓口で働く家元もいれば、道端で能を演じた人もいたと聞きました。明治維新後、能は衰え、能舞台の数も減ったのです。この状況を変えた功労者が、「能楽社」を興した岩倉具視です。岩倉を中心とする明治政府は、能や狂言を総じて「能楽」という名称を新たに付けました。そして、この「能楽」の復興に取り組み始めます。海外の要人のもてなしに役立つという利点や、オペラのような文化的価値を見出したためとか。岩倉は、明治天皇一行を自邸に招いた際に、長く舞台から離れていた能楽師たちを呼び寄せて能を上演してもらうことで、陛下を歓待したそうです。そして、1881(明治14)年には、華族を会員の中心とした能楽社を発足させ、屋外にあった能舞台を、そのまま東京・芝公園内の建物の中に収めて芝能楽堂を設立しました。この能舞台は、後に靖国神社へ移設されます。岩倉は、建設中毎日のように様子を見に行っていたそうです。能楽堂は、その後、屋外での能舞台を屋内にそのまま収めるこの形

で、数が増えていきます。能舞台そのものを残した判断は、能楽の舞台芸術の独自性につながったと思います。また、明治天皇と英照皇太后(明治天皇の母)が非常に能楽好きだったそうで青山御所に明治天皇は能楽堂を建てました。昭憲皇太后(明治天皇妃)も青山に通って一緒に能を観たとか。ドナルド・キーンさんの『明治天皇』には能の鑑賞記録が実に沢山書いてあり、明治天皇も皇后もかなり能を観ていたことがよくわかります。公家が能を観る習慣があったからでしょう。また、それまでは町人などに謡を教えていたのは玄人の能楽師ではありませんでした。それがこの頃から広く門戸を開くようになりました。これまで接点のなかった職業の人にも教えるという方針は、能の普及という点では大正解でした。医者や弁護士といった新興階級が能にのめり込むようになったのです。文学者の中からも、夏目漱石、正岡子規、高浜虚子、泉鏡花、夢野久作とどんどん能の愛好家が出てきました」

【幹事報告】

山田 利明



幹事報告は合同例会になりますので、秩父RC幹事と同じ内容になります。ありがとうございました。



出席率 44.4%



ガバナー卓話

RI第2570地区



ガバナー 村田 貴紀様

まず始めに本日公式訪問例会となります。始めに公式訪問に当たりまして、両クラブの会長、幹事様、会員皆様のご協力によりこのような公式訪問の場を設営して頂きました事を、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

まず秩父ロータリークラブ様、皆野・長瀬ロータリークラブ様の皆様におかれましては、今日まで長きに渡り、奉仕の理想の下、国際交流、地域の事も含めまして奉仕活動を通して、地域の質を高めて頂いております。歴代会長をはじめ、会員の皆様方のご尽力に重ねて心から敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

公式訪問でガバナーの役割として今年度国際ロータリー会長のイマジンロータリーのテーマについてお話させていただきます。

今年度国際ロータリーのテーマはイマジンロータリーです。今年度の国際ロータリー会長のジュニア・ジョーンズ氏はカナダオンタリオ州にありますウィンザー・ローズランドロータリークラブの会員です。メディアストリートの創業者兼ウィンザー大学の理事長など、様々な職歴をお持ちの方です。

ジュニアさんは常々申されております。地区大会の時も掲げさせて頂きましたが、過去は想像出来ません。未来を想像して下さい。研修の度に申されております。私自身もデジグネット、ノミニ、エレクトで今年度ガバナーという事で、3年間研修を受けさせて頂きました。

エレクトの時の国際協議会がズームでした。夜中の1時から3時とか4時。次の日の朝10時からというのが10日間くらい続きました。夜中の1時、2時にネクタイをしてジャケットを着ている。終わるのが3時、その後同期ガバナーとお話してとか言うと、4時くらいになってしまうという形で、今のRIは研修がすごいです。私の年度からノミニから研修という事でゲッツがあります。ガバナーエレクト研修セミナー、これがノミニの時から研修が始まっております。長きにわたる研修を受けまして、RIの年次目標の達成に向けて地区のスローガンを「地域と世界でつながる力を磨き、奉仕を实践しよう」と掲げさせて頂きました。ひとりひとりがいかに明るい未来を想像し、奉仕をする事かなと思っております。

自己紹介をさせて頂きます。私が入会したのが37才でした。入会してすぐに社会奉仕委員長を何も分からずに、何をやるんだろうと思いながら、その時ちょうど埼玉県植栽の補助金がありました。すぐに埼玉県に伺って、補助金を受けて、公園に植栽をさせて頂きました。2年目になりましたら、これからのロータリーはロータリー財団だという事で、地区のロータリ

一財団に出なさいという事で、それから地区で勉強させて頂いて、現在51才になりました。会長を仰せつかったのが2016～17年度、2019～20年度にガバナー補佐を仰せつかりまして、補佐の時にデジグネットという事になり、大変勉強する機会を与えて頂いたと言う事がございます。

やはりロータリーは「はいかイエス」最近「喜んで」という言葉が入っているという事です。財団で勉強させて頂く中で、その時は分かりませんでした。これからはロータリー財団だという話だったので、今となってみると。RIとロータリー財団は両輪であるという事がございます。RIの使命は世界平和、親睦を推進する事とあります。ロータリー財団の場合は達成または構築とあります。RIで推進して、ロータリー財団で達成または構築して、実践していきましょうと今のロータリーはなっております。

そこで入会させて頂きまして、当地区の1991～92年度ですか、うちの大叔父がガバナーをやらせて頂いております。そこから30年経っていますが、私のような者がこのような場所に立っているのか、今でも思っております。

ロータリーは親睦と奉仕であると思います。同期がバナーなどと話をするのが、ロータリーの親睦に対して、これをクラブにおける親睦活動と混同、誤解して本来の意味を理解していない方が増えてきたのではないかという所が同期ガバナーの中でも、全国の地区でお話が出ております。このロータリーの基盤はフェローシップと奉仕、サービスにあって、両者を結びつけるのがロータリーの寛容だと創設者のポールハリスも語っておられます。奉仕と親睦も両者は両輪として直進して、最初の伝達は親睦からの言葉も残しておられます。

ここでポールハリスの言葉をご紹介しますと思いますが、親睦はロータリーの雰囲気の中でますます深まっていく。ロータリーでは形式や気取りを去り、身分や地位に関係なく、対等の立場で交わるからであるという言葉も残されております。

今回RIの会長が4つのイニシアチブを掲げて注力しております。その中の一つにみんなを温かく迎え入れるクラブづくりがあります。私も研修で聞いておまして、クラブでどう温かく迎え入れる。ここにRI会長から二つのキーワードを落としてくれました。心地よさと拝領だそうです。この二つがクラブで心地よさと配慮を大事にする事により、まず入り口として温かく迎え入れるクラブのキーワードになると申されておりました。

そこで様々な最近のロータリー、クラブの形態の変化があります。今年度神奈川TEIロータリーが出来ました。その前は東京グローバルロータリークラブ、全国的に目的に特化したクラブが出来てきております。これもDEI、多様性、公平さ、インクルージョンを推進するところで、グーグルさんなんかもD&Iとか、京大のズームにも出た事があるのですが、D&IとかDE&Iとか様々な社会的にも皆さん採用しています。国際ロータリーでもDEIを推進

していきましようという事になっております。私のクラブのパスポートロータリークラブも新しいクラブの形態のクラブです。8月末ですが、調べたところ世界に73クラブあります。パスポートクラブはどんどん増えています。ウクライナパスポートクラブもございませう。今回地区大会で中日全権大使にお話を頂いたのですが、ポーランドのロータリーの方からお誘いを受けて、ポーランドでウクライナの現状という事でズームで参加させて頂いたりもしました。ウクライナのパスポートロータリークラブ、ロンドンパスポートとか様々な国々にパスポートクラブが出来ております。横の連携をしながら自国に持ち帰り何が出来るのか。パキスタンの問題もあります。様々な問題の直接的な話があります。いろいろなクラブの形態が出て来ているなど実感しております。

RIが将来に向けてアンケート、若い人千人以上を対象にアンケート調査を実施しました。対象者にローターアクター、インターアクター、大学生が含まれておりました。約千人の内、自分は従来型クラブに向いていると答えたのは4人だそうです。また目的に特化したテーマにしたクラブ、こういう事をやりたいとか、そういう意見がすごく多かったそうです。様々な国、地域のこういう所をやりたいとかのクラブはないですか。そういうクラブがあれば、入りたいという話もアンケートの中にあつたそうです。ここで対面、フィジカルとデジタルの組み合わせ、地区大会もハイブリッドで行いました。デジタルにすごい感心があるという事が分かつたそうです。

RIの様々なルールが変わつております。今年度の規定審議会、今年度7月から採用されたものもございませう。後ほど手続き要覧決定報告書が挙がつてきましたら、クラブへ配信させて頂きませう。二つ紹介致します。まず22-13会員がクラブの所在地域に住居または事業所を有する要件を削除する件。職業分類の時も1業種1名、それが1業種5名、全部削除になりました。ここもまた驚くところですが、地域が全世界のクラブ、地域が削除になっています。最近の国際ロータリーは新しい新ロゴに統一しなさい。世界ではこの一つのバッジで一つのロータリーとして活動してください。だから公共イメージでもっともっとロータリーのロゴで発信してくださいという事が国際ロータリーの方向性になっております。もう一つが人頭分担金です。2025-26年まで規定審議会で決定されました。今年度は35ドル50セントです。2025-26年では41ドル。

日本の会員数の現状についてお話しませう。最大の時は1996年です。1996年日本の会員数は129,568人です。取り敢えず最小は2013年と申し上げておきます。86,462人です。この幅だけ見ても33%減です。では2019年6月は87,544です。少し増えています。コロナ禍がありまして、2020年6月85,243人です。驚いた事に1年間でマイナス2,301です。コロナ禍の事もあつたでしょうが、当地区が先日地区大会の時の人数が1,598人です。1,565人スタートで現時点で1,598人です。少し大きめ

の隣の地区でも2,700います。1年で地区がひとつなくなつています。次の2021年6月を見ますと83,392です。2013年取り敢えずこの数字ですと申しましたが、2013年最小と言われていた86,462人、2021年83,392人という事で、最大が1996年、最小が2021年という事になるかと思ひませう。ここだけでもマイナス1,851人です。2つ合わせても4,002です。日本です。2年間で4,000人減つています。このまま増強しないという事はないですが、極論になりますが、増えずに減つていった場合、2060年でゼロになります。この2年間のスピードに追いつく会員増強を考へるところがあります。ここで本年度のイマジンロータリーというものを国際ロータリーでも危惧しているところだす。桁外れに減つています。国によっては横ばいの所、台湾などは横ばいだす。のちほどセミナーなどでお呼び頂ければ、そのようなお話も出来るかと思ひませう。

ぜひとも想像をして下さい。このクラブの5年後、10年後、もしくは15年後、クラブ会員は増えているのかと。時代に即した魅力あるクラブになっているのでしょうか。そのためには戦略計画を、是非とも未来計画を作つて頂きたいと思つております。

公式訪問でまわつている中で、あるクラブで未来創造委員会ですか？未来を付けた委員会を持つているクラブもございませう。その辺がすごく議論をして未来に向けてどうするかというクラブさんもありました。あとは地域の中にある他団体ともつながりを持ち、方針の実践をしてください。あと人道的支援活動を実践するためにロータリー財団の地区補助金を活用して、地域社会、更には世界とのつながりを持ち、ロータリーの目的でもある第一項の言葉を借りませうと、知り合いを広めることにより奉仕の機会とすると。

そこで皆様歌われている奉仕の理想、今のロータリー章典、今は奉仕の理想をはっきりと定義した文章はございませう。昔、公式名簿が発刊されていましたが、その背表紙は裏にずっと書かれていた事があります。ロータリークラブはどこにおいても一つの基本となる理念、奉仕の理想を持つていると。それは他人に対する思いやりの心、助け合いの心であると書かれておりました。

ここで日本のロータリーの創始者である米山梅吉翁はロータリーの理想と友愛の翻訳にあつて、奉仕の理想と訳されています。ここに出てくる思いやりを持つ、人のお役に立つという二つの言葉がロータリーの神髄であると言つても過言ではないかと思つております。私自身も奉仕の理想という奉仕の理念をしっかりと理解して、今後のロータリー活動を続けていきたいと思つております。

最後になりますが、奉仕の理想とは人に対する思いやりを持って、人のお役に立つ事。この言葉を最後に致しまして、公式訪問の卓話を終わらせて頂きます。こんごともご指導のほ

